

引用・参考文献

- 有森直子(2006). 出生前検査の意思決定支援. 小児看護, 29(2), 164-168.
- ケアブレインズ e 研修ネット(2001). 図解でわかる e ラーニング入門. 日本能率協会マネジメントセンター.
- Cranton, P(1999). おとなの学びを拓く : 自己決定と意識変容をめざして. 入江直子・豊田千代子・三輪健二訳(2006). 鳳書房.
- 藤岡完治, 堀喜久子(2002). 看護教育講座 3 看護教育の方法. 医学書院.
- 藤岡完治, 野村明美(2000). わかる授業をつくる看護教育技法 3 シミュレーション・体験学習. 医学書院.
- 福田雅文(2007). ATLキャリアの母親の母乳育児については諸説があるようですが、最新情報ではどのように扱われているのでしょうか？そもそも断乳を進める必要はありますか？. ペリネイタルケア, 25(7), 670-671.
- 福井トシ子(2012). 分担研究報告書 HTLV-1 抗体検査後の栄養方法選択支援に関する看護職の教育プログラムの作成と評価. 平成 23 年度厚生労働科学研究費補助成金 成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業「HTLV-1 母子感染予防に関する研究 : HTLV-1 抗体陽性妊婦からの出生児コホート研究」, 86-123.
- Hino Shigeo(2011). Establishment of the milk-borne transmission as a key factor for the peculiar endemicity of human T-lymphotropic virus type 1 (HTLV-1): the ATL Prevention Program Nagasaki. Proceedings of the Japan Academy, Series B, 87(4), 152-166.
- 板橋家頭夫(2011). 総括研究報告書 HTLV-1 母子感染予防に関する研究 : HTLV-1 抗体陽性妊婦からの出生児コホート研究. 平成 23 年度厚生労働科学研究費補助成金 成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業「HTLV-1 母子感染予防に関する研究 : HTLV-1 抗体陽性妊婦からの出生児コホート研究」, 1-17. 厚生労働省.
- 亀井智子, 梶井文子, 堀内成子, 菱沼典子(2004). 保健医療福祉教育機関等に勤務する看護職におけるe-learning開講に関するニーズ調査報告. 聖路加看護大学紀要, 30, 66-73.
- 糟谷咲子(2010). Moodleの利用による学習効果の評価. 岐阜成徳学園大学短期大学部紀要, 42, 107-116.
- Knowles, M(2002). 成人教育の現代的実践—ペタゴジーからアントラゴジーへ—. 堀薫夫・

- 三輪健二訳(2002). 鳳書房.
- Knowles, M(2005). 学習者と教育者のための自己主導型学習ガイド. 渡邊洋子訳(2005). 明石書店.
- 近藤浩子, 坂口けさみ, 柳澤節子(2003). プレゼンテーションの実際 口演. 臨牀看護, 29(9), 1322-1327.
- 松田岳士, 原田満里子(2007). eラーニングのためのメンタリング 学習者支援の実践. 20. 東京電機大学出版局.
- 松浦和代(2012). 最近の話題の教育方法 第一回 成人教育理論の基礎. 小児看護, 35(1), 120-125.
- 森敏昭, 秋田喜代美編(2006). 教育心理学キーワード . 有斐閣.
- 森内浩幸(2011). 平成 22 年度厚生労働科学特別研究事業 HTLV-1 母子感染予防対策 保健指導マニュアル (改訂版). 「ヒト T 細胞白血病ウイルス-1 型(HTLV-1)母子感染予防のための保健指導の標準化に関する研究」. 厚生労働省雇用均等・児童家庭局母子保健課.
- 中山和弘(2004). Eラーニングは看護を変えるか—その教育効果と活用の可能性—. 看護展望, 29(12), 17-24.
- 中山和弘(2005). eラーニングの今後の方向性と可能性—看護職と市民のオンライン学習コミュニティづくりへ—. 保健医療科学, 54(3), 187-193.
- 中山和弘(2006). eラーニングによる教育者中心から学習者中心の学習への転換. 看護, 58(4), 86-88.
- 中山和弘(2012). 第1章 医療における意思決定支援とは何か. 中山和弘・岩本貴編. 患者中心の意思決定支援 納得して決めるためのケア. 11-42. 中央法規.
- 日本eラーニングコンソシアム(eLC)(2009). eラーニング情報ポータルサイト.
<http://www.elc.or.jp/tabid/158/Default.aspx> [2013.1.26]
- 日本看護協会(2011). 継続教育の基準ver.2.
<http://www.nurse.or.jp/nursing/education/keizoku/pdf/keizoku-ver2.pdf> [2013.1.26]
- O'Connor AM., Bennett CL. & Stacey, D. et al. Decision aids for people facing health treatment or screening decisions (Review).The Cochrane Collaboration.
- 岡山昭彦(2012). HTLV-1感染症：母子感染予防対策とその課題. 臨床とウイルス, 40(1), 8-13.
- 大久保暢子, 大迫哲也, 平林優子, 中山和弘(2004). 我が国におけるe-learning実施大学の

現状；Webおよび文献検索からの分析．聖路加看護大学紀要，30，81-93.

齋藤滋(2010)．総括研究報告書 「HTLV-1 の母子感染予防に関する研究」．平成 21 年度厚生労働科学研究費補助金 厚生労働科学特別研究事業「HTLV-I の母子感染予防に関する研究」，1-38．厚生労働省．

瀬戸山陽子(2012)．第7章 意思決定支援のための資源とその活用．中山和弘，岩本貴編．患者中心の意思決定支援 納得して決めるためのケア．157-191．中央法規．

重松逸造(1990)．成人T細胞白血病(ATL)の母子感染防止に関する研究 総括報告書．平成2年度厚生省 成人T細胞白血病(ATL)の母子感染防止に関する研究，1-6．厚生労働省．

玉木欽也(2010)．これ一冊でわかるeラーニング専門家の基本：ICT・ID・著作権から資格取得準備まで．東京電機大学出版局．

辻恵子(2007)．意思決定プロセスの共有—概念分析．日本助産学会誌，21(2)，12-22.

辻恵子(2008)．出生前検査に関する決定のプロセスを女性と共有すること 助産ケアの可能性．助産雑誌，62(12)，1142-1147.

植田浩司，楠原浩一，徳川健他(1987)．成人T細胞白血病ウイルス(HTLV-1)の母子感染 沖縄地方における15年間の縦断的調査．日本医事新報，3285，32-34.

和田裕一、塚原優己(2010)．平成 22 年度 「HIV 母子感染予防マニュアル 第 6 版」．平成 22 年度厚生労働科学特別研究費補助エイズ対策研究事業「HIV 感染妊婦とその出生児の調査・解析および診療・支援体制の整備に関する総合的研究」．厚生労働省．

Walter,D., Lou,C. &James,O.C.(2001)．初めてのインストラクショナルデザイン．角行之訳(2004)．ピアソン・エデュケーション．

山口一成(2009)．総括研究報告書 「本邦におけるHTLV-1感染及び関連疾患の実態調査と総合対策」．厚生労働科学研究費補助金 新型インフルエンザ等新興・再興感染症研究事業「本邦におけるHTLV-1感染及び関連疾患の実態調査と総合対策」，1-25．厚生労働省．